

所長	事業責任者	主任	副主任

## 会議（打ち合わせ）議事録

ひょうご障害者地域生活支援センター

名称	第5回 防災を考える部会
日時	2018年1月31日（水） 16:00 ~ 17:30
場所	中部在宅障害者福祉センター 2階 研修室
<p>【出席者】          肢体障害者福祉協会（1）、聴力言語障害者福祉協会（3）、視力障害者福祉協会（1）、手話通訳グループ「葦の会」（1）、いかり共同作業所（1）、神戸ろうあハウスデイサービスセンター（2）、兵庫区役所健康福祉課（3）、ひょうご障害者地域生活支援センター（3）、手話通訳者2名          計15名（手話通訳者2名は除く）</p>	
<p>1、ヘルプカード配布状況の報告</p> <p>○地域福祉センター          まちづくり課を通し、15センターに設置。設置していただけたところに30部送付。          詳しい説明をもとめられた和田岬地域福祉センター、川池地域福祉センターには説明後に設置。          1/23 川池地域生活支援センターに訪問し、説明を実施。          1/20 和田岬地域福祉センターに訪問したが、1回で説明できず、2/20に2回目の説明を実施し、設置。          1/25 浜山地域福祉センターは、説明の希望があり、説明に伺い設置した。</p> <p>○コープ兵庫駅前          1/30に訪問。店長が対応。設置について承諾をいただき、1階のチラシを置くスペースに設置。部数は30部。店長より、心配事として、障害・高齢者は個配で割引があり、ヘルプカードを証明の代わりに使われないかという危惧があるとのこと。何かあれば事務局へ連絡をいただくこととした。また、ここ最近で、筆談で2名の方の対応をしたと話があったため、ろうあ協会、葦の会の情報提供を行った。          その流れで以下の情報提供があった。手話の講習会を（単発）団体を対象に開くことになっており、区社会福祉協議会からチラシを配布することになっている。3月末までに希望があれば1、2回程度実施予定。定員は10名程度。          入門講座（20回）に来るのは難しいけれど、1日の研修で広められればという思いがある。          兵庫区では、子供手話講習会を夏休みに行っているが、大人にも提供するというで始まった。</p> <p>○イオンモール神戸南          2/5 10:00 訪問予定。</p> <p>○友生支援学校          生徒に配布することについて、承諾を得た。訪問日時は今後調整する。          新しい生徒が入学すれば、その都度配布してくれると話があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コープとイオンについて、ヘルプカード、書き方見本を袋に入れて、設置を行う。</li> <li>・ ポップをつける案が挙がっていたが、設置場所におけるかどうかわからなかったため、作成せず。</li> <li>・ 地域福祉センターはヘルプカード、書き方見本を袋には入れていない。袋に入れた方がいいかどうかは設置後、意見を確認する。袋は追加で購入可能。</li> <li>・ ミニコープが区内にたくさんあるので、設置してはどうか。</li> </ul> <p>2、来年度の活動内容とワークショップ開催地について</p> <p>○開催地について          今年度までに、入江地区と中道地区が終了。</p>	

次年度の開催地について。  
山地区がよいか。鶴地区、熊野地区、菊水地区など山地区は意識が高く熱心である。  
他、東山地区、荒田地区、聾者が住んでいる地域、湊川地区、平野地区などの意見が挙がった。

○ワークショップの内容について

回数について。今年度は2回。3回は多いのではないか。  
中道地区は要援護者防災訓練に向けて3回実施した。1回目で障害を知る。2回目でヘルプカードの案内。3回目講演会。  
2回でも、防災訓練につなげられればいいのではないか。  
2回目終了後何かにつなげられないか。  
昨年実施した、中道地区は今年度、コンサルを呼んで活動している。  
山地区であればすでに熱心に活動しているので、年2~3回として該当地域の方と相談する。

○ヘルプカードについて

現在設置した場所のモニタリングを行うのはどうか。  
県がヘルプカードを作成したが、神戸市としてはどうするのか。  
他区では、増刷しないという話があった。  
ヘルプマーク、ヘルプカードについて県の資料を確認。神戸市としては、ヘルプマークは県が提示しているものを使う、ヘルプカードは神戸市で統一したものを作成する予定。

○その他

「平成29年度 兵庫区安心安全フェア開催検討概要」  
日時：3/11（日）9時～  
砂防、山崩れを想定。祇園小学校運動場、多目的ホールで開催。400名の推定参加人数。  
1地区あたり30名。要援護者の安否確認、出てこれる人は支援者と出てくる。  
他、アトラクション、防災ゲーム、防災落語などの企画がある。  
3/2に最終打ち合わせがある。  
部会に求められている役割は参加した要援護者にヘルプカードをすすめてほしいとのこと。  
安否確認が大半か。黄色いタオルなどを目印。  
2月部会時に安全安心フェアの参加者を確認。  
当日は耳の日のため、聾者、支援者は参加が困難。

「防災士シンポジウム」の案内。  
日時：2/18（日）13時～16時30分  
場所：神戸市勤労会館7階大ホール  
講師：沖村孝氏

「2月の部会について」  
勉強会を予定。要援護者登録について、神戸市くらし支援課に講義を打診。  
2/27 16時～17時30分の予定。  
質問事項を当日までに検討をお願いします。

以上

業務  
連絡

次回部会開催日程  
日時：平成30年2月27日（火）16:00～17:30  
場所：中部在宅障害者福祉センター